

給食教育部から

6月10日(金)、育友会給食衛生委員会の方々のお世話で、給食試食会を開催しました。1年生の保護者の方が20名以上参加して下さいました。

この日の給食のメニューはパン、牛乳、白身魚フライ、ごぼうサラダ、コンソメスープでした。まず、お家の方に1年生の児童が上手に給食の準備をする様子や「いただきます」の後、友だちと楽しそうにおしゃべりしながら食べている姿を見ていただきました。



その後、ランチルームで児童と同じ給食を食べていただきました。久しぶりの給食を皆さん美味しそうに食べていました。食事しながら栄養士の渡辺先生のお話を聞いていただきました。衛生管理や給食室での作業の様子を、写真を交えながらわかりやすく紹介していただきました。給食がどのように作られているのかイメージしていただけたのではないかと思います。他にも、給食は子どもたちが元気に成長できるように考えて作られているので、苦手なものでも1口は食べるように指導していることとか、お家でも「今日の給食、おいしかったね。」とか、偏りなくいろんなものを食べるように声をかけたりしてくださると嬉しいです等々お話してくれました。

給食を通じて少しでも好きな食べ物が増えて、給食が楽しい時間になるとともに子ども達の食生活がよりいっそう豊かなものになることを願っています。ご家庭でもご協力よろしくお願いします。

2年生から「きしっこ あんしん プロジェクト！」

4月14日に、熊本県を中心に大きな地震がありました。子どもたちの会話の中にも何度か地震の話が出ていました。2年生では防災に関するDVDを見て地震や防災について学習をしました。

子どもたちからは「貴志の町はだいじょうぶかな。」「避難場所ってどこだろう。」と多くの意見が出てきました。そこで、「きしっこ あんしん プロジェクト！」とタイトルを決めて、貴志の町の安心や安全を探しに行く学習を始めました。



まず、お家の防災について調べ、話し合うことから始めました。家庭の防災を話し合う中で、子どもたちは、「自分たちは守られている、大切にされている。」といった気持ちを改めて感じたようでした。この他にも、地域の消防団の方々や延時交番のおまわりさん、見守り隊の方々にお話を聞かせていただいたり、万一の災害の場合に備えて小学校内に保管している備蓄物資を見学したりして、周りの人々がどんなことをしてくれているのか、どんな思いで働いてくれているのかを感じていました。

この学習を通じて児童一人一人が、防災について意識を高めると共に「自分も大切、皆も大切。」といった気持ちが育つことを願っています。